(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 22 日

佐賀県知事 殿

提出者

住 所 佐賀県唐津市和多田2430

氏 名 唐津赤十字病院

院長 宮原 正晴

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0955-72-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業場の名称| 唐津赤十字病院 事 業 場 の 所 在 地|佐賀県唐津市和多田2430 間令和7年4月1日~令和8年3月31日 計 画 期 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 ① 事業の種類83 医療業 ② 事 業 の 規 模 304床 ③ 従 業 員 数 6 4 4 名 病院 ひびき灘開発㈱ 焼却 (株)イー・アール・シー高城 久屋産業(株) 回収 ④特別管理産業廃棄物 ㈱大和 搬入 (中間処理委託業者) (株)スカラベサクレ (最終処理委託業者) の一連の処理の工程 (有)メディクリーン (収集運搬委託業者) 埋立

(日本産業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 佐賀県庁 循環型社会推進課 唐津赤十字病院 医療関係機関 都 道 府 県 等 廃 棄 物 担 当 部 局 院長 唐津赤十字病院 廃 棄 物 管 理 責 任 者 検査技術課長 唐津赤十字病院 PHS 8204 会計課 営繕係 内線 2012 中間処理業者 (有)メディクリーン 久屋産業(株) 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和6年度)実績】 特別管理産業廃棄物の種類 感染性廃棄物 排 出 量 251.176 t. (これまでに実施した取組) ①現状 部署別の排出量を院内で月次報告し、排出量の情報を共有することで廃 棄物分別への取組みを促進した。 【目標】 特別管理産業廃棄物の種類 感染性廃棄物 排 量 240.000 出 (今後実施する予定の取組) ②計画 前年度同様、各部署別の排出量を院内で開示することで廃棄物分別への取 組みを行い、排出量を抑制する。 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①現状 感染性廃棄物専用ボックス設置場所に分別表を掲示している。 (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、感染性廃棄物専用ボックスへ対象外の廃棄物が混入していない ②計画 か適宜確認するよう各部署に促す。 また、廃棄物分別表の再認識を図る。

自ら行う特別管理	産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	【前年度(令和 年度)実績】											
	特別管理産業廃棄物の種類											
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t									
①現状	(これまでに実施した取組)	<u> </u>										
	【目標】	【目標】										
	特別管理産業廃棄物の種類											
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t									
②計画	(今後実施する予定の取組)	t	<u> </u>									
 自ら行う特別管理』	 産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	【前年度(令和年度)実績】											
	特別管理産業廃棄物の種類											
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t									
①現状	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t									
	(これまでに実施した取組)	0	<u> </u>									
	【目標】											
	特別管理産業廃棄物の種類											
	自ら熱回収を行う											
	特別管理産業廃棄物の量	t	t									
②計画	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t									
	(今後実施する予定の取組)											

自ら	行う特別管理産業廃棄	物の埋立処分に関する事項										
		【前年度(令和 年度)第	実績】									
		特別管理産業廃棄物の種類										
	①現状	自ら埋立処分 を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t								
		(これまでに実施した取組)										
		【目標】										
		特別管理産業廃棄物の種類										
	②計画	自ら埋立処分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	t	t								
		(今後実施する予定の取組)		,								
特別.	管理産業廃棄物の処理	2の委託に関する事項										
		【前年度(令和6年度)実統	漬】									
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物									
		全処理委託量	251.176 t	t								
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	142.755 t	t								
		再生利用業者への 処理委託量	t	t								
	①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	142.755 t	t								
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	108.421	t								
		(これまでに実施した取組)										
		可能な限り、優良認定処理美	業者、認定熱回収業者	への処理委託に努めた。								

		【目標】											
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性	廃棄物									
		全処理委託量	240.00	0 t	t								
		優良認定処理業者への 処理委託量		t	t								
		再生利用業者への 処理委託量		t	t								
	②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t								
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	240.00	0 t.	t								
		(今後実施する予定の取組) 昨年度契約していた認定熱回収業者が今年度より大幅に処理費用を上げる とのことから、優良認定ではないが、非認定ではあるものの熱回収・環境 配慮に積極的に取り組んでいる業者に一本化した。											
		【前年度(令和年度)実績】											
		特別管理産業廃事 排 出 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物	量 を除く。)	量 251.176 余(。) t									
	情報処理組織の使用 する事項	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物については、すべて電子マニフェスト登録している。											
*	事務処理欄												

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④ 懶には、当該事業場において生する特別官埋産業廃業物についての発生から取終処分か終」するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
 - 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定
 - 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。) を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する 取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行 規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
 - 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 9 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係別紙)

(第2面)

特別管理	産業廃棄物の排出の抑制に	こ関する事項	ĺ														
	【前年度(令和6年度)実績】																
①現状	特別管理産業廃棄物の種 類	感染性廃棄物															
	排 出 量	251.176 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
②計画	特別管理産業廃棄物の種 類	感染性廃棄物															
	排 出 量	240.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う物	特別管理産業廃棄物の再生利用に関す	-る事項													
	【前年度(令和 年度)実績】														
①現状	特別管理産業廃棄物の種 類 <u>感染性廃棄物</u>														
	日の再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の 最 t	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】														
②計画															
	目り再生利用を打り 特別管理産業廃棄物の 最 t	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う物	特別管理産業廃棄物の中間処理に関す	る事項		•	•	•	•		•						
	【前年度(令和 年度)実績】	【前年度(令和 年度)実績】													
	特別管理産業廃棄物の種 類 感染性廃棄物														
①現状	目り然凹収を打つた 特別管理産業廃棄物の 最 t	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t
	量 t 目り中間処理により減重した 特別管理産業廃棄物の 具 t	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】	•	'	•	'	'	1		•		1			'	
	特別管理産業廃棄物の種 類 <u>感染性廃棄物</u>														
②計画	付別自生生未成来物の	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t
	申ら中間処理でより減量する 特別管理産業廃棄物の も	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係別紙)

(第4・5面)

() 1	, ш,															
自ら行う特	持別管理産業廃棄物の埋立	立処分に関する	る事項													
	【前年度(令和 年度	三) 実績】														
0	特別管理産業廃棄物の種 類	感染性廃棄物														
①現状	目 5 埋 立 処 分 を 行 っ た															
	特別管理産業廃棄物の 量	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	【目標】			•												
@31 ##	特別管理産業廃棄物の種 類	感染性廃棄物														
②計画	目 5 埋 立 処 分 を 行 う															
	特別管理産業廃棄物の 量	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	
特別管理產	産業廃棄物の処理の委託に	こ関する事項														
	【前年度(令和6年度)	実績】														,
	特別管理産業廃棄物の種 類	感染性廃棄物														
	全処理委託量	251.176 t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	142.755 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+	
	認定熱回収業者への 処理委託量							·								
	認定熱回収業者以外の	142.755 t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	熱回収を行う業者への処理委託量	108.421 t			+			+								
		100.421 0	· ·		٠,											
	特別管理産業廃棄物の種 類	感染性廃棄物														
	全処理委託量	240.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	+	+	+	+	+		+			+	+	+	+	+	
②計画	再生利用業者への 処理委託量															
		t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への															
	処 理 委 託 量	240.000 t	t	t	t	t	t t	t	t	t	t	t	t	t	t	